令和7年4月 市長記者会見 配布資料

発表要旨

期 日 令和7年4月22日(火)

時 間 午前10時～午前11時(予定)

発表内容

- 1 世界遺産登録を契機とした観光二次交通の体制整備について
……………<観光振興課、交通政策課>
- 2 佐渡市生活応援券の発行について ……………<地域産業振興課>
- 3 結婚新生活にかかる支援について ……………<地域産業振興課>
- 4 木造住宅の耐震促進及び危険ブロック塀撤去等への支援について
……………<建築住宅課>
- 5 佐渡市における令和4年度市町村内総生産等の状況について
……………<総合政策課>

【事前質問】

- ① 新たな独自財源のための税の在り方検討会議で、「入島税」が適当とする報告書がまとまりました。報告書への受け止めと、今後の新税に対する議論の進め方や方向性、導入時期のめどについて現時点の考えを確認させてください。(観光振興課)
- ② 世界遺産登録後、初の大型連休となります。観光施設の駐車場の混雑や昼食難民などが懸念されます。市や関係機関による対応策などあればお聞かせください。(観光振興課)
- ③ 入院制限を行っている佐渡総合病院の現状と対策、今後の課題についてお知らせ下さい。(健康医療対策課)
- ④ トキエアの佐渡路線就航にむけた進捗状況についてお知らせ下さい。(交通政策課)

市長記者会見発表内容 要旨 (R7. 4. 22)

1 世界遺産登録を契機とした観光二次交通の体制整備について

<概要>

- 世界遺産登録を契機とした受入環境整備として昨年から導入しております佐渡版ライドシェア、相川周遊バスの運行を今年度も開始します。

【佐渡版ライドシェアの導入について】

- 昨年7月26日から9月1日の間で行いました実証調査では、お客様からの配車依頼230件に対し、配車実績は104件で、そのうち、タクシー車両が16件、ライドシェア車両が88件と明らかにタクシー不足であることが確認できました。
- 今年度はゴールデンウィーク前の4月26日から、秋の行楽シーズンの11月30日まで運行します。
- 観光客に限らず市民の皆さまの移動手段として運行しますので、ご利用ください。

【相川周遊バスについて】

- 4月25日から10月31日までの間、毎日運行します。
- 昨年度は、同期間中4,537人の方にご利用いただき、コロナ禍前と比較しても利用実績が伸びており、特に世界遺産登録後の8月から乗車人数が高い水準で推移しています。一方で、路線バスとの接続時間の課題がありましたので、今年度は運行ダイヤを改善し、お客様の利便性向上を図ってまいります。
- 市民の皆さまも無料でご利用いただけますので、地域の移動手段としてご活用ください。

2 佐渡市生活応援券の発行について

<概要>

- 物価高の影響を受ける市民の皆さまの生活を支援するため、市内取扱登録店で利用できる「佐渡市生活応援券」を発行します。
- 応援券は、市民の皆さまからお買い求めいただける「購入型」と子育て世帯に配布する「配布型」の2種類あります。

【購入型応援券】

- 「購入型」は1セット6,500円分を5,000円で購入できる、プレミアム率30%を上乗せしたお得な応援券で3万200セット発行します。
- 購入にはお申し込みが必要です。申込書を兼ねたご案内チラシを市役所本庁・各支所・行政サービスセンター窓口等で配布するほか、5月に嘱託員を通じて全戸配布いたしますので、4月24日～5月31日までにお申し込みください。
- お申し込みは、お近くの郵便局や市役所窓口のほか、チラシに記載の二次元コードや佐渡市のホームページからも受け付けします。
- 応援券のご利用期間は、6月16日から12月31日で、市内のスーパーや飲食店などの取扱登録店でご利用いただけます。

【配布型応援券】

- 子育て世帯に配布する「配布型」の応援券は、18歳以下の児童に1人あたり5,000円分の応援券を無料で配布します。
- 7月中旬から順次、子育て世帯にお届けする予定です。お手元に届き次第、ご利用いただけます。

3 結婚新生活にかかる支援について

<概要>

- 若い世代（39歳以下）の婚姻に伴う新生活の経済的不安の軽減を図るため、新婚世帯の住居に係る初期費用を補助します。
- 対象となる経費は、住宅の取得やリフォーム、アパートの敷金、礼金、仲介手数料と、引越費用です。
- 対象となる世帯は、本年1月1日から来年（令和8年）2月28日までに婚姻されたご夫婦で、補助金額は、ご夫婦ともに29歳以下の場合は60万円、39歳以下は30万円が上限です。
- 全国的な課題である未婚・晩婚化への対策として結婚を希望する方がその希望を実現できるように、引き続き、新たな出会いの場の創出などに取り組んでまいります。

4 木造住宅の耐震促進及び危険ブロック塀撤去等への支援について

<概要>

- 4月14日(月)から佐渡市木造住宅耐震促進事業補助金と佐渡市危険ブロック塀撤去等事業補助金の募集を開始しています。
- 詳しい内容につきましては、市のホームページで紹介しています。また、市報さど5月号で内容についてお知らせします。

【佐渡市木造住宅耐震促進事業補助金について】

- 一戸建ての木造住宅に対して、耐震診断や耐震改修工事等に要する費用を補助します。
- 今年度は、国及び新潟県において能登半島地震を踏まえての耐震化の促進や、近年の物価高騰による補助限度額の見直しがあったことから、市もその財源を活用した耐震改修等の補助限度額の引き上げを行いました。
- 拡充内容は、耐震診断の補助額を上限10万円から13万6千円に増額し、耐震改修工事の補助額を上限100万円から115万円に増額しました。
- 高齢者等世帯を対象に、部分耐震改修工事及び耐震シェルター等設置工事について、補助制度を新設しました。

【佐渡市危険ブロック塀撤去等事業補助金について】

- 地震発生時におけるブロック塀の倒壊による被害を防ぐため、通学路及び避難路に面した倒壊の危険性があるブロック塀について、撤去費用を補助する制度を用意しています。

5 佐渡市における令和4年度市町村内総生産等の状況について

【配布資料あり】

<概要>

- 新潟県では例年3月末に県内各市町村における経済活動の規模や構造、所得水準などを公表しており、令和4年度分が公表されました。
- この統計は、「新潟県市町村県民経済計算」といわれるもので、県内各市町村の経済構造や実態を明らかにし、地域経済の分析や施策の企画・立案の基礎資料として活用されるものです。
- 市町村内総生産は、国のGDP(国内総生産)にあたるもので、市町村内の生産活動によって生み出された付加価値額の総額のことをいいますが、令和4年度の佐渡市の総生産は1,613億円で、前年度に比べておよそ20億円の増、経済成長率はプラス1.3%で、2年

連続のプラス成長となりました。

- 主な増額の要因は、宿泊・飲食サービス業が前年度に比べておよそ 30 億円の増となったことで、令和 2 年に発生した新型コロナウイルスで観光入込み客数が減少したものの、令和 4 年度中の行動制限の緩和に伴い、回復基調になったことが大きな要因になったと分析しております。
- 今後も世界遺産として価値を認められた文化や自然、食など佐渡の魅力を発信しながら交流人口の拡大や二地域居住の促進など、島に人を呼び込みながら経済の活性化を促し、人口減少社会の中にあっても生産年齢人口の割合を維持しながら、1,600 億円程度の経済規模を確保していきたいと考えております。
- 市町村民所得額も公表され、1人当たりの所得額では、佐渡市は 236 万 9 千円で、前年よりも 2 万 6 千円増加しましたが、新潟県平均の 293 万 6 千円よりも下回り、県内 30 市町村で 28 番目となっております。
- 1人当たりの所得額は、単純に個人の給与や所得の水準を表すものではなく、雇用者報酬や企業の利潤などの合計額を市町村の総人口で割り返して計算するものですが、一方で、1人当たりの「雇用者報酬」の比較では、佐渡市は 384 万円で全体で 25 番目となるため、人口全体で割り返す 1人当たりの所得額においては、高齢者の割合が多く、給与所得が少ない人口の多いことが大きく影響を与えるものと考えられます。
- 今後とも雇用機会の創出や「住む」と「働く」をパッケージにして可処分所得による佐渡ならではの生活スタイルを提案しながら、人口減少社会の中でも生産年齢人口を増やし、高齢者も活躍できる社会づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

【事前質問】

- ① 新たな独自財源のための税の在り方検討会議で、「入島税」が適当とする報告書がまとまりました。報告書への受け止めと、今後の新税に対する議論の進め方や方向性、導入時期のめどについて現時点の考えを確認させてください。
 - ・ 報告書では、新たな財源の使途や課税要件等に関する意見に加えて、宿泊税と入島税（訪問税）を比較検討した結果、日帰りのお客様も含めて公平にご負担いただくべきである等の理由から、入島税（訪問税）の方が適当であると報告されています。
 - ・ 税として導入する以上、納税者となるお客様に納得していただける仕組みであることが最も重要となりますので、使途に関しても、より明確にする必要があると考えております。

- ・ 観光関係事業者の皆様が納税者にしっかりと説明できるような形で税の導入を進めなければならぬため、事業者を含め、引き続き議論していく必要があると考えており、導入時期については現時点では未定です。
- ② 世界遺産登録後、初の大型連休となります。観光施設の駐車場の混雑や昼食難民などが懸念されます。市や関係機関による対応策などあればお聞かせください。
- ・ 大型連休のため、一定程度の混雑については全国の観光地で発生しているものと認識をしており、佐渡を訪れるお客様にもご理解をいただきたいと考えております。
 - ・ 特に混雑が予想される史跡佐渡金山については、昨年のゴールデンウィーク期間中は、第1、第2駐車場については、時間帯によっては混雑が見られましたが、第3駐車場には比較的空きがあったものと聞いております。引き続き、官民が連携して駐車場へのスムーズな案内・誘導を行うとともに、相川周遊バスやレンタサイクルなど「きらりうむ佐渡」を拠点としたパーク&ライドを推進してまいります。
 - ・ 昼食対策としては、5月3日から5日の間、相川地区の飲食店と連携をして、「きらりうむ佐渡」にて地元産の食材を使用したお弁当の販売を予定しており、それに合わせて「きらりうむ佐渡」の講堂を食事スペースとして無料開放します。
 - ・ その他、相川観光案内所において、飲食店の営業情報や混雑情報等の発信を強化するなど、官民が連携しながら課題の解決を図ってまいりたいと考えております。
- ③ 入院制限を行っている佐渡総合病院の現状と対策、今後の課題についてお知らせ下さい。
- ・ 3月14日からの入院制限については、現在、看護師の確保を進めており、4月下旬を目途に解消する見込みであると聞いております。

現状では緊急を要する患者はこれまでと同様に常時受け入れておりますので、受診することができます。
 - ・ 現在、両津病院への転院や老健施設への入所などを含めて入院調整を行っており、予定入院の制限もしていない状況です。
 - ・ 今後につきましては、看護師確保の目途は立っていると聞いておりますので、しっかりと状況を確認していきたいと考えております。

④ トキエアの佐渡路線就航にむけた進捗状況についてお知らせ下さい。

- ・ トキエアならびに県からは、佐渡路線就航について、今のところ連絡をいただいておりますが、46人乗りの3号機が新潟空港に到着したことや佐渡空港の工事が順調に進んでいると県から聞いております。